

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
循環型社会論	2	後期	2	全学共通・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(なかたに ゆうすけ) 中谷 勇介	ユニプルーブを利用します			

(英文科目名 Recycling-based Society)

授業の概要

わたしたちの経済において、要らなくなったモノが廃棄されてそれが再利用されてまた新しいモノへと変化して循環していく仕組みは、人体で言えば「静脈」側にたとえることができます。わたしたちは気軽に「リサイクル」という言葉を使いますが、捨てられたモノはきちんと「リサイクル」されているのでしょうか。そもそも「リサイクル」とは何でしょうか。「リサイクル」はわたしたちが思っているとおうまくいっているのでしょうか。

本授業ではこれらの問いについて明らかにすべく、ペットボトル、廃家電、廃自動車、建築廃材、廃 PC を焦点にあてて廃棄後どのように「リサイクル」されているのか学びます。国内でできあがっているこれらのリサイクルシステムに、国境を越えて移動するというリサイクル資源の特性が大きな影響を受けているという点について最終的に学びます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(2)、すなわち、教養教育(ネオ・リベラルアーツ)を環境理解の側面から学ぶ科目として位置づけられます。この科目では環境問題の中でも私たちにとって身近である廃棄物問題について深く学びます。関連する科目として全学共通科目の「地球と環境」があり、「地球と環境」では環境問題全体を概観しながら学びます。このため、本科目とともに「地球と環境」を受講することで環境問題について深い理解を得られるでしょう。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	廃棄物の現状と費用問題、個別リサイクル法、国際資源循環という廃棄物を特徴づける3つの論点について理解することができる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	廃棄物をめぐる様々な問題について、論理的思考に基づいて、自らの考えや意見についてコメントカード等を通じて適切に表現できる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	環境問題、廃棄物問題における現代的な課題を自ら発見しその解決方法を提案することができる。

授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	イントロダクション ―廃棄物とは	事前学修: 参考書[1]の第1章「静脈経済の現状と概観」を読み「廃棄物の定義と特徴」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「1. 廃棄物とは」について復習し、演習問題を解く(90分)
2	廃棄物問題(1) ―排出の現状と最終処分場問題	事前学修: 参考書[3]の第1章「私たちの生活と環境」を読み「ごみ問題と循環型社会」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「2. 廃棄物問題(1)」について復習し、演習問題を解く(90分)
3	廃棄物問題(2) ―廃棄物処理のコスト	事前学修: 事前配付資料「3. 廃棄物処理のコスト」を読み、「一般廃棄物の現状と処理費用」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「3. 廃棄物問題(2)」について復習し、演習問題を解く(90分)
4	廃棄物問題(3) ―災害廃棄物問題	事前学修: 事前配布プリント「4. 災害廃棄物問題」を読み、「災害廃棄物の現状」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「4. 廃棄物問題(3)」について復習し、演習問題を解く(90分)
5	不法投棄・不適正処理問題	事前学修: 参考書[5]の第7章「不法投棄はなくせるか」を読み「不法投棄問題」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「5. 不法投棄・不適正処理問題」について復習し、演習問題を解く(90分)
6	廃棄物の費用負担問題	事前学修: 参考書[5]の第2章「循環型社会の基本問題」を読み「費用負担問題とEPR」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「6. 廃棄物の費用負担問題」について復習し、演習問題を解く(90分)
7	個別リサイクル法と循環型社会の形成	事前学修: 参考書[2]の第2章「リサイクル大国の真実」を読み「個別リサイクル法と日本のリサイクルの現状」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「7. 個別リサイクル法と循環型社会の形成」について復習し、演習問題を解く(90分)
8	中間の振り返りと解説	事前学修: 事前配布プリント「8. 中間

		<p>のまとめ」を読み、前半の授業内容について復習をする(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「8. 中間のまとめ」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
9	容器包装のリサイクル	<p>事前学修: 参考書[1]の第2章「容器包装の適正処理とリサイクル」を読み「容器包装リサイクルの概要」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「9. 容器包装のリサイクル」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
10	家電のリサイクル	<p>事前学修: 参考書[1]の第3章「使用済み家電製品のリサイクルの現状と課題」を読み「家電リサイクルの概要」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「10. 家電のリサイクル」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
11	E-Waste のリサイクル	<p>事前学修: 参考書[1]の第9章「使用済み電気・電子機器の適正処理とリサイクル」を読み「E-Wasteリサイクルの概要」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「11. E-Wasteのリサイクル」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
12	小型家電のリサイクル	<p>事前学修: 事前配布プリント「12. 小型家電のリサイクル」を読み、「E-Wasteと小型家電リサイクルの概要」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「12. 小型家電のリサイクル」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
13	ELV のリサイクル	<p>事前学修: 参考書[1]の第4章「使用済み自動車のリサイクルの現状と課題」を読み「自動車リサイクルの概要」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「13. 自動車のリサイクル」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
14	国内資源循環と国際資源循環の整合性	<p>事前学修: 参考書[1]の第11章「新しい資源循環レジームの展望」を読み「国内資源循環と国際資源循環の整合性」について理解する(90分)</p> <p>事後学修: 配布プリント「14. 国内資源循環と国際資源循環の整合性」について復習し、演習問題を解く(90分)</p>
15	まとめ 一循環型社会は可能か	<p>事前学修: 事前配布プリント「15. まとめ」を読み、14回目までの授業内容に</p>

		ついて復習をする(90分) 事後学修: 配布プリント「15. まとめ」に ついて復習し、演習問題を解く(90分)
--	--	--

成績評価の方法・基準

①コメントカード(30%)、②試験(70%)。

指定教科書

特になし。

参考文献等

参考書[1]: 細田衛士(2008)『資源循環型社会—制度設計と政策展望』慶應義塾大学出版会

参考書[2]: 杉本裕明(2015)『ルポにつぼんのごみ』(岩波新書)岩波書店

参考書[3]: 栗山浩一、馬奈木俊介(2018)『環境経済学をつかむ<第3版>』有斐閣

参考書[4]: 小島道一(2018)『リサイクルと世界経済』(中公新書)中央公論新社

参考書[5]: 吉田文和(2004)『循環型社会—持続可能な未来への経済学』(中公新書)中央公論新社

その他参考文献は授業中に適宜紹介します。

履修上の留意点

特になし。

実務経験